



JR東労組 八王子

HACHIOJI



ホームページ

発行責任者  
執行委員長 針谷 歩

2022/9/9 №16

## 8月31日 青梅線青梅～奥多摩間の安全安定

### 輸送確保に向けた緊急申し入れ開催！！その④

#### 東労組

##### 【申し入れ内容】

2. 現在の危険木や近接木、近接竹の現状を明らかにし、乗務員申告等で運転保安上対処を要する情報を得た際は、直轄、外注を問わず速やかに対処すること。そのうえで、各系統の伐採区分の明確化を図り、臨機応変に伐採出来る仕組みを構築すること。

##### 【交渉での主な議論】

・例えば電力メセさんが独自で一生懸命やっているところを誰かが助けてもらえるように出来たりするようなきっかけになる方法があればより台帳も有効活用できるのではないかと？

・会議の中で乗務員区のユーザー目線の意見も必要ではないかと？取り込めるしくみも構築してはどうか？

・申告されない設備をつくるのは我々の仕事。でも非常に除草が多くなっていて疲弊していることは認識一致を図りたい。いくらでもできるとなると限界性はある。乗務員区の意見も含め改善していくことは共通の認識だ。

・乗務員区では、危険であれば指令に連絡する指導がされている。指導の悩みは若い世代ほど連絡に抵抗感を感じている。連絡しても大した事がないのではといわれる。呼び出される側の感覚は？

・後続に大丈夫と言われたらなんで言ったのかとそのような雰囲気にはしてはいけない。早く言ってほしいという雰囲気を広めた方がより安全で対処ができると共有したほうが大事。前広にしてほしい。

#### 会社

##### 【回答】

2. 近接木台帳により、各担当技術センターで沿線の支障樹木を把握・管理している。また、乗務員申告等があった際は、関係箇所と情報を共有し、担当技術センターおよび即応可能な技術センターが対応している。

##### 【交渉での主な議論】

・台帳はあくまでも土木に切っしてほしいものである。自分たちがやっていくようなものではなく土木でなければ出来ないものの管理である。会社回答も竹に触れていない回答で悪かったかもしれない。竹については沿線木台帳の管理ではない。竹は除草会議でやっていける中身だ。近接木は根本からなのでわけて管理したい。

・情報を頂くのは検討したい。現場でやっていた時は緊急で呼び出されたくない、プライドも庭先意識もある。でも情報をもらいながらやっていくのも大事な。

・はい。

・危ないかもしれない情報であればもう一度列車で確認をお願いしている。緊急性であれば抑止してやる。空振りになる場合もある。早めに言うてもらうほうが効率的に対応できる。情報を事前にもらえば対応できるのでありがたい。

・無線で抵抗があれば戻ってきてからなにかしら情報共有してもらえば抵抗感も減るのかなと思う。無線で言うて悪いことではないという風土を作っていく。